

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「インスタグラム」「ライン」に掲載しています。



\\ 交通事故ゼロを目指して //
春の全国交通安全運動出発式

5月11日から20日までの10日間、「春の全国交通安全運動」が展開されるにあたり、市役所で5月10日出発式が開かれました。出発式では、今年小学校に入学した徳元みのりさん、亀崎新汰さん、下門舜弥さんの3人に交通安全ランドセルカバーが贈呈され、交通安全の誓いとして、「道路では遊びません。横断歩道は手を挙げて渡ります。右、左をしっかりと見ます」と元気よく宣言しました。

\\ 糸満OB還暦チーム全国大会へ //
2つの大会で優勝

沖縄県還暦軟式野球競技会が主催する第36回沖縄県還暦軟式野球大会、高知県で行われた

第3回龍馬杯還暦軟式野球大会の両大会において、糸満市の「糸満OB還暦チーム」が優勝し、その喜びを報告するため5月2日、糸満市役所を訪れました。チーム監督の西平寿和さんは「前回の全国大会は、新型コロナウイルスの影響で開催できず、少し心配していますが、ベスト4を目指して頑張りたいと思います」と話しました。



\\ 夏にぴったり!ゴーヤーで元気に! //
5月8日はゴーヤーの日

糸満市ではゴーヤーの拠点産地として、5月8日の「ゴーヤーの日」から8月5日の「裏ゴーヤーの日」まで、産地ブランドの確立や消費拡大などを目的にさまざまな取り組みが行われています。取り組みの一環として、光洋小学校の5年生を対象に「ゴーヤーの日出前授業」、真壁こども園と喜屋武こども園でゴーヤーの苗植え体験が行われました。授業では、ゴーヤージュース(原液)の試飲体験や、当日の給食

にはゴーヤーとささみのサラダが出たほか、JAおきなわ糸満ファーマーズから「ゴーヤーの佃煮」「ゴーヤージュース」が提供され、児童たちは鼻をつまんで食べたり、ジュースをお代わりしたり糸満産のゴーヤーを味わいました。また、苗植え体験では、プランターに1株ずつ丁寧に苗を植えながら、「ゴーヤーに何で水をかけるの」、「どうやってゴーヤーは育つの」と質問するなど、楽しそうに苗植えを行っていました。



\\ フルーツビール部門でW受賞 //
ITOMAN/S が銀賞と銅賞を受賞

クラフトビア・アソシエーション主催のジャパン・グレートビア・アワードで、糸満市の特産品であるITOMAN/Sの「Akamachi」が銀賞、「Taman」が銅賞を受賞しました。今回は全国各地の158事業者から587銘柄のビールが出品され、ITOMAN/Sはフルーツビール部門で受賞しました。ITOMAN/Sを製造している南都酒造の津波古さん



は「初出品で受賞することができました。多くの方に味わっていただきたいです」と話しました。

\\ プールの準備ができました! //
市内プール清掃ボランティア

5月13日と20日、糸満市防水塗装業協会の構成事業所の皆さんによる、市内小学校のプール清掃ボランティアが行われました。同協会の玉城亮会長は「昨年度のボランティア活動後、多くの児童や学校関係者から感謝の言葉やお礼状をいただいたことがとても嬉しく、今年度も継続させていただきましました。住み心地の良いまちづくりに貢献できるようにこれからも活動を続けていきたいです」と話しました。



\\ 県内1位 //
沖縄県さとうきび競作会

沖縄県糖業振興協会が主催する第47回沖縄県サトウキビ競作会農家の部で、沖縄県1位にあたる農林水産大臣賞を糸満市の島袋幸光さんが受賞し、その喜びを報告するため4月27日に糸満市役所を訪れました。受賞した島袋さんは「とても光栄な賞をいただいて嬉しいです。この賞に恥じないようなさとうきびを今後も作れるように努力を続けていきます」と話しました。



\\ 平和を願い //
第19回平和祈念こいのぼりまつり

5月2日、平和祈念公園で「第19回平和祈念こいのぼりまつり」のオープニングセレモニーが開催され、4年ぶりに市内保育施設の園児たちが参加して、こいのぼりの掲揚などが行われました。平和祈念こいのぼりまつりは、慰霊の塔や平和祈念公園にこいのぼりを掲揚し、子どもたちに平和について考えるきっかけを作る目的で、2005年から行われています。セレモニーに参加したしおひら保育園の久手堅成歩さんは「大きいこいのぼりは見たことあったけど、初めてこいのぼりを揚げた。重たかったけど楽しかった」と話しました。

